

# 諸外国の計画について

---

平成22年11月5日

国土交通省 国土計画局

## 諸外国の大都市圏の計画概要(国際競争力関係)①

	パリ大都市圏「グランパリ」	ロンドン大都市圏「ロンドンプラン」
面積	762km <sup>2</sup> (パリ市・周辺3県)	1,579km <sup>2</sup> (Greater London Authority)
人口	654万人	828万人
計画策定主体	国	大ロンドン行政庁(Greater London Authority)
計画策定目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の大都市と競うパリの経済成長を実現</li> <li>イル・ド・フランス州の重要な地域を公共交通機関で接続し、持続可能な経済開発を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらなる人口増加が見込まれる中、①経済成長、②貧困解消、③環境配慮を同時に実現することにより、ロンドンを持続可能な世界都市として発展</li> </ul>
国際競争力の強化に関する基本的考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>グランパリ法では、整備すべき公共交通網の計画(パリとイルド＝フランス地域圏の求心力のある地域をむすぶメトロ計画)が大まかに示されており、サクレ台地に科学技術的拠点を創設することに関する規定も盛り込まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ロンドンのための戦略的ビジョン及び目標の実現</li> <li>・ロンドンが以下のような都市となるよう取り組む               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済成長及び人口増加の課題に対処する都市</li> <li>2 国際競争力を持ち、繁栄する都市</li> <li>3 多様で、強力で、安全で、利用しやすい近隣地区の都市</li> <li>4 五感を楽しませる都市</li> <li>5 環境改善で世界のリーダーになる都市</li> <li>6 万人が職を得て、機会や施設を利用するのが容易で、安全で、便利な都市</li> </ol> </li> </ul>
拠点・集積の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パリ南西に位置するサクレ台地を、科学技術研究の戦略的拠点として開発</li> <li>・「新しいタイプの」公共法人を設立(グラン・パリ公団)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心地区(Central Activities Zone): ビジネス、商業、観光、文化の中心</li> <li>・強化地区(Opportunity Areas/ Intensification Areas): 工場跡地等の未利用地を、住宅・ビジネス拠点として開発</li> <li>・再生地区(Regeneration Areas): 貧困地域を、教育・訓練、保健、治安、交通アクセス、雇用、環境、住宅等の面で改善</li> </ul>
計画に位置付けられた主な施設・事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が保証する財源によるパリ中心部・主要ビジネス拠点・空港を結ぶ無人地下鉄(延長130km)の整備</li> <li>・新駅周辺の集中的開発(国が先買い権を設定)</li> <li>・サクレ台地における研究都市の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的・社会的に問題を抱えたロンドン東部を中心に、交通インフラの整備と都市再開発を推進</li> </ul>

 (注)東京23区は面積622km<sup>2</sup>、人口849万人

## 諸外国の大都市圏の計画概要(国際競争力関係)②

	ソウル首都圏「首都圏整備計画」	長江デルタ地区「長江デルタ地区地域計画」
面積	11,745km <sup>2</sup> (ソウル市、仁川市、京畿道)	約210,700km <sup>2</sup> (上海市、江蘇州、浙江省)
人口	2,447万人	14,685万人
計画策定主体	国	国家発展改革委員会
計画策定目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口安定化を前提として、首都圏の「質的發展」を追求</li> <li>・高い国際競争力を備え、地方と共存発展する首都圏を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長江デルタ地区の総合競争力の強化と持続可能な発展の実現、それによる長江流域及び全国における持続可能な発展の実現</li> <li>・国家総合力、国際競争力及び全国の経済発展の推進・強化</li> </ul>
国際競争力の強化に関する基本的考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○首都圏整備の4大整備目標</li> <li>・先進国水準の生活の質を備えた首都圏として整備</li> <li>・持続可能な首都圏成長管理基盤の構築</li> <li>・地方と共に発展する首都圏の実現</li> <li>・北東アジアの経済中心地としての競争力ある首都圏の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的イノベーション能力の増強に尽力し、都市と農村の協調的発展の促進に努力し、資源の節約と環境保護水準の向上に尽力する。</li> <li>・社会調和を促進し、科学的発展、調和的発展、率先的発展、一体的発展において全国でもトップクラスとなり、実践的な科学発展のモデルエリア、改革刷新のトップエリア、現代化建設の先行エリア、国際化発展の先導的エリアの構築に努める 等</li> </ul>
拠点・集積の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域別の特性化ビジョンを設定し、これを実現するための戦略を推進</li> <li>・ソウルは世界都市化プロジェクトを推進して、世界的競争力を有する北東アジアの拠点都市であると同時に国家的革新創出の中心地として育成</li> <li>・仁川は経済自由区域の活性化を通じて、北東アジアの国際物流の中心地として建設</li> <li>・京畿道は先端・知識基盤産業のメッカとして育成し、韓国版『シリコンバレー』を実現 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上海市、江蘇省の南京等の16市を「計画中心区域」に指定</li> <li>・上海：国際競争力の高い産業イノベーション基地と科学技術研究開発センターを建設</li> <li>・南京：先進製造業拠点、現代サービス拠点と長江水上運輸物流センター、科学技術イノベーションセンターを建設 等</li> </ul>
計画に位置付けた主な施設・事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏の国際競争力確保のための国際交通インフラを拡充</li> <li>—北東アジアのゲートウェイ約を担うために空港、港湾施設を整備し、空港・港湾と首都圏内の拠点都市との連結交通網を確保</li> <li>・循環型幹線道路網構築 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通施設整備の推進(北京—上海高速鉄道等)</li> <li>・全国及び地域の総合運輸中枢(港湾・空港)の整備</li> <li>・石炭、石油、ガス、電力、新エネルギーを中心とするエネルギー基礎施設の建設</li> </ul>

 (注)日本の首都圏の既成市街地と近郊整備地帯の合計は面積7,693km<sup>2</sup>、人口3,313万人